

## 緊急事態宣言 9・30 日まで延期！

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、8月27日に広島県に発出されていた「緊急事態宣言」が9月30日まで延期されました。デルタ株の影響で10代や10歳未満への幼児児童生徒への感染が拡大し、心配な状況です。その中で、幼稚園は子育て支援の目的も含め、保護者のご理解ご協力のもと、さらなる感染防止対策をしながら運営しています。その一部を紹介いたします。

### 1 衛生管理

- ・登園後は消毒をして部屋に入ります。外遊び後・給食前等は、必ず手洗いをし、手指の消毒をしています。
- ・歯磨き・うがいは、密を避け、アクリル板を手洗い場に取り付けて行っています。
- ・毎朝出入り口の窓枠やドアノブ・手すり、照明のスイッチ、トイレ等 消毒をしています。
- ・外遊び後のスコップやすり鉢等、降園後には部屋で使った道具等 消毒をしています。
- ・足洗いのぞうきんは個人用を使い、洗濯をしています。
- ・オゾン機や空気清浄機・サーキュレーター、部屋の換気等で、常に消毒・空気の入替えをしています。



### 2 マスクの着用

- ・部屋では、マスクの着用を進めています。(外遊びは、熱中症の心配があるため外す)
- ・黙食(ノーマスクでの会話は行わない)を行い、職員は交代で給食指導にあたっています。

### 3 密な空間を避ける

- ・異年齢との関わり・密接なふれあい遊びは避けています。どうしても必要な場合は、手指消毒をしてから行っています。
- ・椅子や座る位置を名前を付け固定化し、机使用時は、アクリル板を使い、2人がけにしています。
- ・預かり保育も可能な限り、クラスごとで行っています。

### 4 教育・保育内容の見直し

- ・ねらいが達成できるように感染状況に応じて保育内容や行事を見直し、誰もが安心して登園し、遊びを楽しめるように工夫しています。(運動参観や表現参観も再度検討中)

## うさぎは今・・・

本幼稚園では、2匹のウサギを飼っています。茶色い毛並みをした「はあとちゃん」と白い毛並みをした「しろちゃん」です。元気いっぱい、子ども達に可愛がられている2匹ですが、7月頃から2匹の体調に変化が見られ、獣医さんに相談すると、「ストレスからくるものでしょう」と言われました。そこで、お世話をしているさくら組の子ども達が、かわいそうに思って「元気になあれメッセージ」をかき、ウサギ小屋を2つに分けました。しばらく様子を見ていましたが、最近またひどくしろちゃんがやせ細り、毛が抜かれ痛々しいので、他園からゲージを借り、しろちゃんの部屋をつくりました。子ども達は、登降園の際に心配をしながら声をかけています。早く元気になって、子ども達と一緒に遊べる日が来る時を待っています。



## 汐見稔幸先生の「子育て家庭へのメッセージ」

NHK E-テレ「すくすく子育て」等に出演されている 東京大学名誉教授 白梅学園大学名誉学長 汐見稔幸先生のお話を先日リモートでお聞きしました。

### 【子育ての目標で大事なこと】

自分の意見を言えるようになる、ように育てる

(民主主義社会の担い手になってほしいという目標のため)

### 【子育ての原則】

- 1 子どもの意見、考えをできるだけ表現させてそれを大事にしていく関係をつくる**  
(「どうしてママの言うことが聞けないの!!」ではなく  
→「どうしてママの言うことを聞くのがいやなの?」から始まる対話に)
- 2 子どもを「善く」見れば子どもは「善く」なる**  
(人間の人の良し悪しは社会が決めるもの。逆、斜めから見るのが大事)  
(我が子の「いいところ」「好きなおところ」を 20個具体的に書き、清書して台所に張り、できれば丸暗記を)
- 3 考える力や好奇心、忍耐力等こそを 早期教育を**  
(社会で信頼されていい仕事をしている人は、「非認知的スキルが高い」)  
(非認知的スキルは、少し以前では「生活」の中で手に入れていた心身の力)  
⇒ 地域で群れ、異年齢集団で遊んで大きくなった。自然と上手にかかわりながら体をしなやかに使い、工夫して、相談して、遊びを毎回創り出し、それを深め、小さい子に伝えていた  
**「生活」で身に付けた力は?**  
① 失敗しても、うまくいかなくても感情をできるだけポジティブに保つ力=情動コントロール力、レジリエンス  
② 好奇心や興味・関心。そして挑戦心、試行錯誤力。  
③ コミュニケーション力。社会力。人の配慮ができる力。  
④ 粘り強さ、あきらめない忍耐力 …… 等々